

校長通信

第1号 令和5年4月24日

式辞から

▽4月7日（金）入学式の式辞で、本校の歴史と卒業生の人数に触れました。歴史については「明治40年の開校以来116年の歴史を刻んでおります」と述べました。従って今年が117年目ということになり、3年後に120年という節目を迎えます。二度目の還暦です。ミスタージャイアンツ長嶋語録に「初めて還暦を迎えた」というのがありますが、還暦は一度だけとは限らないので全く変ではありません。暦は60年で一回りする（十千十二支の最小公倍数）のだから、理論的には何度でもあることになります。

卒業生数については「2万2千人になんなんとし」と述べました。卒業生数は台帳に従えば、21,907名です。教育計画もそうになっています。しかし、100周年記念誌には、「25,000人を超える卒業生」とあります。どちらを採用するか迷い、結局卒業台帳説を取りました。小樽実践女学校時代から100年を超える歴史があるので難しいとは思いますが、正確な人数を調べてみようと思っています。

校長室から

▽3月27日（月）この日今年卒業したK君（3年2組）が、合格の報告に学校を訪れました。合格したのは順天堂大学スポーツ健康科学部です。

「当初は推薦で出願し、小論文と面接の対策だけをしていました。それが不合格になったあと11月から2月初めまで、必死に勉強しました。最初は基本的な問題集から始めました。勉強は1時間で区切り、休みの日は5時間くらいやりました。疲れたら近所を散歩するなどして気分転換をしました。今までは部活オンリー（野球部）の生活で、正直長時間勉強し続けるのは大変でした。行き詰ったら、基本に戻り、理解できる範囲を広げることを意識し、やる気を維持させました。スポーツ健康科学部にはいろいろなコースがあります。今後は自分が興味を持てる分野を見つけて、勉強したいと思っています。」という話をしてくれました。

いろいろな入試制度で受験して、最後に一般で合格しました。勉強の期間が短い中、自分なりのやり方を工夫して勝ち取った合格です。部活動を含んだ3年間の努力の結果が報われたことをとてもうれしく思いました。

▽4月11日（月）この日は漢字検定2級合格を果たしたTさん（3年2組）が来室しました。

点数は180点を超えていたそうです。（漢検は200点満点で、2級は8割の160点が合格の目安です。9割を超える点数は見事です。）準拠の問題集を2冊購入し、申し込みの1か月前から毎日ページを決めて時間に書いて覚えたと言います。余裕があれば準1級を目指そうかなと言っていました。

なお、本校HPにある「漢字検定WEB講座」は見えていないとのことでした。その場で講座を見てもらったところ、見ていれば苦手な四字熟語や熟語の構成でもっと得点できたと悔しがっていました。（漢字検定WEB講座は、HPから双葉高校関係者ならだれでも見ることができます。[生徒の活動→在校生用のページ→学習コンテンツ（双葉オリジナル）→検定対策講座]閲覧のためには、PWDが必要です。先生に聞いてください。検定終了のたびに、解説動画を更新しています。）

